



深めよう絆 つなげよう未来へ

支部長 川南地区 齋藤 幸男（昭和 49 年卒）

このたび、渡部裕二前支部長のあとを受けて会津支部長になりました齋藤幸男です。お引き受けして、改めて職責の重さに身の引きしまる思いです。よろしくお願いします。

大学の同窓会って何でしょうか。毎月小学校の同級生数人と無尽をしていますが、それとは趣が違うように思います。わたしは、大学がもっている魅力かなと思っています。

先日の総会では、学生歌が高らかに響きわたりました。米寿のあいさつで小林清様が紫雲寮閉寮の話をされると、他の方々から大学時代の話がこぼれだしました。同窓生の高梨光一様の講演をお聞きし、地球科学への熱い探究心が伝わってきました。これは一例ですが、私たち同窓吾峰会の魅力です。

この 10 月に本会会津若松大会が行われますが、私たちスタッフ全員でスローガンを「深めよう絆 つなげよう未来へ」と決めました。本支部も少子高齢化の影響を受けて会員の減少、役員のなり手不足などの課題がありますが、このスローガンをそのまま私たちのスローガンとして本会の魅力を発掘し発進し続け、未来へとつないでいきたいと思っています。

令和 8 年度福島大学同窓吾峰会会津支部総会 6 月 21 日（日）ルネッサンス中の島

今年度も懐かしい学生歌斉唱から支部総会が始まりました。支部長あいさつに続き、米寿・喜寿の方への記念品贈呈では、代表して小林清様にご挨拶をいただきました。今年度は役員改選の年にあたり、渡部裕二支部長と岩沢隆副支部長が退任されました。今まで支部総会は 5 月に行っていましたが、5 月は諸行事が多く、特に現職の方の参加が大変少ないという課題がありました。そこで、今年度は多くの方が参加しやすいように総会を 1 か月遅くしましたが、残念ながら参加者が少ないままでした。



小林清様のご挨拶の様子



高梨光一様の講演の様子

講演会 「今、地球が大切！」

磐梯地区 高梨 光一 様（昭和 51 年卒）

講演会では、まず、私たちの記憶にまだ新しい東日本大震災時の太平洋側にある 4 つの原子力発電所のその時について説明がありました。中には、過去の津波堆積物の発見から嵩上げをするなどして、津波の被害に遭わなかった原発があったことが分かりました。

次に日本の国土の置かれている状況、4 つのプレートについてのお話があり、そのプレートの動きが、地震や火山、大陸の移動などを起こしているという考え方（プレート・テクトニクス）について、ハワイの火山列・天皇海山列の移動や、大西洋の東西岸の類似性、日本列島の誕生など具体的な例を挙げて詳しくお話しいただきました。

地学を学ぶ人は少ないが、自分や大切な人のために、プレート・テクトニクス、巨大地震の原因、過去の破局的噴火の記録などは知っておきたいものとまとめられました。

親交と絆を深めた懇親会

懇親会には 18 名の方が参加。少人数ではありましたが、いつもと違う顔ぶれの方にもご参加いただいたので、懇親会の目的である世代間の交流と親睦が図られ、とても和やかで楽しく、充実した会となりました。次回は、参加者の輪がさらに広がることを期待しています。



渡部裕二顧問の乾杯のご発声ではじまりました。

「大学での学びを胸に」

日新小学校教諭 佐藤 駿丞（令和7 年卒）

大学時代を振り返ると、理科の実験方法について学んだ授業や研究室での活動が特に印象に残っています。研究室の先生には多くの場面でお世話になり、学習面だけでなく社会人としての姿勢についてもたくさんのことを学ばせていただきました。特に卒論発表会前には、先生や仲間と夜遅くまで準備を進めたことが思い出に残っています。また、教育実習での模擬授業では思うようにいかず悔しい思いをしたことがあります。その経験を通して物事を準備することの大切さや、相手に分かりやすく伝えることの難しさを学びました。現在は小学校教員として2 年目を迎え、5 年生の担任をしています。卒業後も大学で開催される講習会などに参加する機会があり、そのたびに先生方とお会いできることをうれしく感じています。また、後輩や同期と交流することもあり、大学とのつながりのありがたさを実感しています。仕事では毎日新しい発見や学びがある一方で、一人一人の思いに寄り添いながら成長を支えていくことの難しさも感じています。まだまだ未熟な部分も多いですが、大学時代に培った粘り強さを大切にしながら、日々子どもたちと向き合っています。

大学時代の学び

神指地区 酒井 完（昭和5 4 年卒）

毎年、仲間が集まり同じ話題で盛り上がる。福島大学の同級会高湯会（同じ旅館でアルバイトをした仲間）である。卒業して5 0 年が経過するが、参加者は皆、当時の思い出を大切に、宝物のように語る。私もこの高湯温泉の旅館を大切な場所と位置づけ生活してきたように思われる。もちろん毎日の大学生活はその後の教員生活の基礎を培う大切な学びの場であり、多くの師、先輩、友との出会いの場であったが、高湯でのあの生活が大学での毎日と同様に、いやそれ以上に思われるのは不思議である。当時、旅館の主人は年齢が近いのに判断が早く、アルバイトの声を聞き、クレームの対応も適切、旅館の経営も安定していた。当時ここでのアルバイトを通して大学では学べない一般社会での対応、仕事の仕方を学ぶ場であり、そして、主人を目標として後を追ってきたのかもしれない。唯一、酒を楽しく飲むことだけは近づけたかもしれないが。



（左）力を入れて取り組んでいる5 年生「国語」の教科書（佐藤駿丞）

【会費 Q&A コーナー新設】

昨今の物価高のあおりを受け、会津支部の財政も年々厳しさを増している状況です。そこで、会費に関わる情報をわかりやすい形で提供する「会費 Q&A コーナー」を新設し、皆さんと一緒に会費（財政）について考えていきます。

Q：現在の年会費8 0 0 円はいつ頃からですか？

A：会津若松支部時代の昭和5 9 年に会費値上げをし、8 0 0 円としました。その後、会津若松支部と北会津支部が統合して平成2 0 年度に現在の会津支部が誕生しましたが、4 0 年間以上据え置いています。

今回は、支出の現状と工夫についてです。ご意見等ございましたら下記事務局長までお知らせください。

事務局長 大越 辰哉（TEL・FAX 0242-29-2956）

令和8 年度同窓吾峰会会津若松大会の案内

日時：令和8 年1 0 月1 7 日（土）1 1 : 3 0 ~

会場：会津若松ワシントンホテル

4 年に一度会津地区で開催されます同窓吾峰会「会津若松大会」が、上記日程で開催されます。講演は、星 賢孝様の「世界を魅了する只見線ー奥会津」です。会員の皆様に配布された「会津若松大会のご案内」をご覧ください。

<編集後記>

現職の校長先生方と話していると、決まって、後補充の先生方をどう確保するかが話題に上ります。私たちの吾峰会でも人材の確保は大きな課題です。課題解決に向けて、支部の活動を知ってもらうことが第一歩ではないか、そんな気持ちでこの支部広報の仕事を齋藤支部長から受け継ぎました。今後ともよろしく願います。（兼子栄一）